

技術研究 発表会

平成 29 年(2017 年)

7/7

金

13:00~

開催の趣旨

一般財団法人国土技術研究センター(JICE)は、昭和48年(1973年)の設立以来、今年で44周年を迎えます。この間 JICE は、高度な建設技術に関する調査研究機関として社会に貢献して参りました。

技術研究発表会は、JICE の実施している社会資本整備に係る政策提言等、先進的研究内容や幅広い活動状況等を広く一般の方々に対して紹介する公益事業の一環として開催いたします。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

特別講演 13:20~

オープンIoTで土木建築分野はどう変わるか

東洋大学 情報連携学部(INIAD) 学部長
YRPユビキタス・ネットワーキング研究所 所長
坂村 健氏

オープンなIoT基盤の確立により家電や様々な機器が場所やメーカーの垣根を超えてつながり、そこから新たな商品やサービスが生まれます。同じことが土木建築分野でも起こる可能性があります。オープンIoTで土木建築分野はどう変わるのかをお話します。

研究課題発表 14:35~17:40

河川、道路、都市・住宅・地域、技術・調達の各分野から6課題を発表

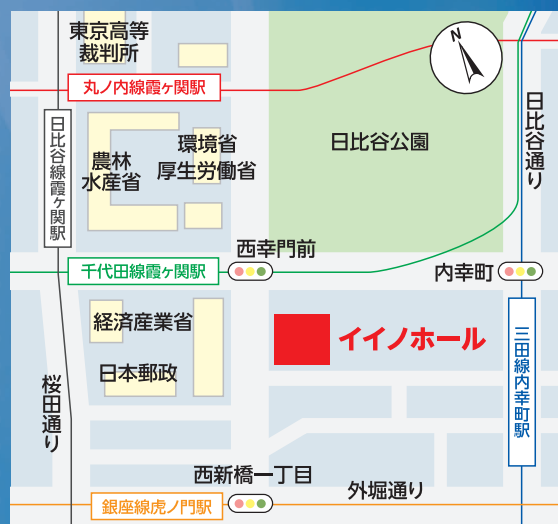
※プログラムは裏面参照

交流会 18:00~

会場：カンファレンスルーム 参加費：1000 円

■ 会場 イイノホール

東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビル 4F
TEL 03-3506-3251



- 東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C3出口 徒歩1分
- 東京メトロ 丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
- 都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7出口 徒歩3分

■ 参加申し込み

JICEのHP

<http://www.jice.or.jp/>

必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。

※多数のご来場が予想されますので、参加ご希望の方はお早めにWEBにてお申し込み下さい。

■ 定員 500名 (参加費無料)



・本技術研究発表会は、土木学会認定の継続教育(CPD)プログラムに認定(JSCIE17-0359)されています。

第31回 技術研究発表会プログラム

13:00	開 会
13:00～	挨拶 理事長 谷口 博昭
13:20～	特別講演 『オープンIoTで土木建築分野はどう変わるか』 東洋大学 情報連携学部（INIAD） 学部長 YRPユビキタス・ネットワーキング研究所 所長 坂村 健 氏
14:20～	休 憩
河川政策 グループ	水害リスクマネジメントの現状と展望 水害リスクマネジメントにおいて、ハード対策とソフト対策は車の両輪のように重要な対策であるが、ソフト対策の位置付けや役割、効果は十分に整理されていない現状にある。 気候変動に伴う豪雨発生が頻発する昨今、整備途上や計画規模以上の外力に対する被害を極小化するためには、直接被害のみならず、社会経済への波及的な影響被害の実態を踏まえ、社会経済被害を軽減し早期復旧に寄与するソフト対策の実効性を高めていくことが重要であり、そのための課題と展望について発表する。 発表者：岡安 徹也 河川政策グループ 研究主幹
	14:35～ 河川堤防の雨水排水による被災と対応 河川堤防については、これまで浸透や侵食、地震に対しては点検が実施されており、順次堤防強化が進められているところである。一方で、地球温暖化や異常気象による降雨外力の増大等に伴い、近年、これまで考えられてこなかった雨水排水の集中が原因と推定される堤防の法すべり等の被災が多発している。本発表は、雨水排水による被災事例を分析することによりそのメカニズムを推定し、雨水排水に対する今後の堤防管理や対策手法について報告するものである。 発表者：佐古 俊介 河川政策グループ 首席研究員
都市・住宅・ 地域政策 グループ	建築物のバリアフリー化の促進に向けて 高齢者、障害者を始めとする利用者にとって、全ての建築物が使いやすいものとして整備されることを目的に、建築物のバリアフリー設計ガイドライン「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」がある。 本発表では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた、建築設計標準の改正検討より、「劇場、競技場等の客席、観覧席」、「ホテル客室」などを中心に、建築物のバリアフリー化の促進に向けた取り組みについて報告する。 発表者：沼尻 恵子 都市・住宅・地域政策グループ 首席研究員
16:00～	休 憩
道路政策 グループ	アスファルト舗装の長期保証 舗装の維持管理について、厳しい予算制約の中、より一層のコスト縮減、効率化が求められており、舗装のさらなる耐久性向上・長寿命化を進めていく必要がある。そのような中、直轄国道の新設アスファルト舗装工事においては、平成24年度から全国で供用後一定期間経過した後の性能保証を求める長期保証制度が実施され、一定の効果をあげつつある。 本発表では、長期保証を付した新設アスファルト舗装工事の概要と補修工事への適用の動向を紹介する。 発表者：中村 博康 道路政策グループ 主席研究員
	16:15～ 高速道路における天然ガスパイプライン設置に関する技術的課題の検討 東日本大震災以降、大きく変わったエネルギーの需給状況、今年度から実施されたガスの小売自由化、それに伴う全国的な天然ガスパイプライン整備の議論等を踏まえると、天然ガスパイプラインを高速道路に敷設する場合に技術的な面でどのような課題があるのかを改めて整理する必要性が高まっている。 こうした状況に鑑み、高速道路における天然ガスパイプライン設置に関する技術的課題について検討したものである。 発表者：丸山 大輔 道路政策グループ 上席主任研究員
技術・ 調達政策 グループ	工事記録映像の活用に関する研究 工事現場において施工状況を撮影し、その映像を品質の向上や安全管理等に活用する方策について、工事記録映像活用研究会を設置し、研究を進めている。 本発表では、昨年度作成した「工事記録映像活用試行要領・同解説」をベースに、先導的な事例やプレ調査結果について報告するとともに、映像を監督手法の1つとして品質の確保に活用する他、受発注者間のコミュニケーションの円滑化、安全管理等に活用する際の考え方について提案する。 発表者：横地 和彦 技術・調達政策グループ 研究主幹
17:40～	閉 会
18:00～	交流会（会場：カンファレンスルーム 参加費：1000円）